

講義名	流通・マーケティング演習		
科目区分	演習科目		
担当教員	白 貞壬		
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 3時限		
	2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2015年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース)		
履修開始年次	2年生	単位数	6 講義コード 13503

主題と概要

近年、企業活動がグローバル化し、情報技術が進展するにつれ、日本的流通システムの変容が迫られています。今回の講義では、日本的流通システムの動態をテーマにし、日本の流通システムがどのように変化してきているのか、またそうした変化は諸外国の流通システムとの程度「類似性」と「異質性」を持っているのか、といった問題について議論していく予定です。

なお履修に際しては専門的な知識を学ぶため、その基礎知識を身に付けている受講者ほど有利でしょう。流通システム論およびグローバル流通論に関する理解を前提として、産業の特質及び市場のコンテキストによって異なる流通システムの事例を取り上げながら理論的分析を行います。

到達目標

他者の報告に有益な質問やコメントを行うことで、自分の意見をまとめ、自己主張できる能力を習得する。高度な専門職業人に必要なフィールドワークや事例研究の手法について指導を行う。自分の報告だけでなく、他の参加者の報告を良く聞いて、それについてコメントできるスキルを習得する。

提出課題

受講者全員には講義の前日まで、毎回予定された講義関連資料のレジュメ(感想と疑問点を含めて)を提出してもらいます。講義関連資料は、本講義の第1回目のガイダンスの時に配布します。発表者のレジュメにそって、皆さんから出された疑問点を中心に議論していく予定です。

評価の基準

出席(10%)
 毎回提出されるレジュメの評価(30%)
 プレゼンテーション(30%)
 ディスカッション(30%)

履修にあたっての注意・助言他

本講義は十分な予習を前提にする「参加型の講義」です。したがって、ディスカッションに参加せずに、ただ教室に座っているだけでは単位を取得できません。毎回提出されるレジュメとディスカッションへの積極的な参加が評価の大きなポイントになります。

教科書

プリント資料及び参考文献

関連する資料は本講義のはじめに配布します。参考文献に関しましては、適宜、紹介します。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 流通環境の変化と再編(1)
- 3 文献レビュー(1)-1
- 4 文献レビュー(1)-2
- 5 文献レビュー(1)-3
- 6 流通環境の変化と再編(2)
- 7 文献レビュー(2)-1
- 8 文献レビュー(2)-2
- 9 文献レビュー(2)-3
- 10 流通環境の変化と再編(3)
- 11 文献レビュー(3)-1
- 12 文献レビュー(3)-2
- 13 文献レビュー(3)-3
- 14 流通環境の変化と展望
- 15 まとめ

予習・復習

提示された関連資料および参考文献を予習しておくこと。

備考
